

南相馬
minamisoma

南相馬ファクトリー
NPO法人 あさがお
西町第一仮設住宅

■2011/7/30・31

with NPO 法人あさがお
仮設住宅居住者に向け
「無料青空バザール」+炊き出し。

■2012/9/7-9・2013/2/22-24

西町第一仮設住宅集会所にて
ワークショップ開催。
原町、小高を訪れる。

「欲しいものはありましたか?」「小ぶりの片手鍋が欲しいです」とくさんとの出会いは今でも鮮明に記憶している。2011年7月に無料バザー・交流で訪れた南相馬で、控えめに佇んでいたご婦人に声をかけた。

ご主人が津波に流され大けがをされたこと、避難した見知らぬ土地での心細さ、やっとふるさとに近い仮設住宅に入居できたことなどお聞きした。要望リストの品物を送ることが出来たのは、約ひと月後。しばらくして届

いた長い長い手紙には、感謝の気持ちが綴られていた。2年経った今は、福島のおばあちゃんに会いに行くような思い。今年もまた行く予定です。(若女将 こと 渡邊)



米沢、いわき
首都圏避難者

yonezawa
iwaki
the Metropolitan area

■2011/4/12 with あうん

いわき海星高校へ文房具搬送。

■2011/8/28

避難者3名で福島県いわき市応援pjを実施。

■2012/3/31・5/27・6/23・7/22

首都圏避難者交流会

■2012/11/24

福島県より山形米沢市に避難されている
雇用促進住宅の子供たちとクリスマスイベント開催。

福島から避難をされている方の中には、自主避難の方も多し。住民票をどうするのか?仕事、子育て、家族、あるいは、ふるりの自宅の問題など、一人ひとりの置かれている状況は様々だ。2年を経たからこそ、切迫した問題が出てきている。困ったら、声を掛け合えるつながりをこれからも紡いでみたいと思います。(まる こと 山崎)



双葉町避難所旧騎西高校
futaba

+石巻「明友館」
齋藤良太郎と仲間たち

■2012/11/4・2013/1/13・2/16・3/2・3/16-17・4/21

埼玉県加須市・旧騎西高校避難所にて
Hot Meals for People from Fukushima 参加。

「最後の避難所」と呼ばれる廃校で生活を余儀なくされている双葉町の方々は、地域は違えど同県人同胞だ。各教室等を段ボールで仕切りプライバシーの無い生活を2年以上故郷へ帰れず続ける姿に心痛むが、同情より現状を見て自分は何を行動するかが大切に思う。毎回の交流で繋がりもでき、双葉の方が他へ移っても必要なら馳せ参じます。(ヘルニアこと せいし)



石巻
ishinomaki

湊放課後クラブ
石巻 明友館

■2011/11/5-6

宮城県石巻市にて「石巻応援プロジェクト」
無料青空バザール、子どもたちへ11月のクリスマスイベントを実施。

■2012/2/17-19

石巻応援pj Vol.2 湊地区学童にて新年会を開催。

■2012/7/27-29 with コア葛飾

石巻応援(視察)プロジェクト実施。

■2012/12/14-16

「石巻湊地区プロジェクト」クリスマスイベントを開催。
石巻市に店舗を新設された方に生地等を届ける。

発災直後に被災した放課後児童クラブより文房具等支援の声がかり、それ以来何度か伺うようになった。そこから更に石巻・明友館や物資支援から現在は石巻市内にショップをOPENした「アトリエ阿友美」等たくさんの方々と繋がっていている。市街地を外れると復興の遅れを感じる。また人々のストレスもMAXに近づいている。(竹馬 正己)



「被災地に行けなくてもやるべきことは山ほどある。」
いろんなかかわり方を
ちらりご紹介。

VOICE:1

最初に被災地に入ったのは、6月の女川。ほとんどの家が津波に流され、土台しか残っていない光景を見た時の衝撃は忘れられません。

あれから2年。再建された建物の合間に、いまだにあの時のまま取り残された建物を見つけると、まだまだ先は長いなあ、と感じます。

小さな事でも長く続けられる支援が必要ですね。これからも弾丸ツアーで行くぜ東北!



↑双葉町の方とリフレマッサージをしつつ対話する。

ねずねず こと 小泉

VOICE:2

本業が土日等であるため、中々他のメンバーと一緒に被災地へ行くことが難しい状況です。なので、こちらで出来ることはないか?ということで団体の経理・会計等を主に担当しております。

また、現在は団体の資金状況が厳しいこともあるので知合いの方や知合いのお店、NPO 関係者等に活動状況を伝え、必要な資金や物資集めを行っています。地域のイベントに参加して、活動の広報や資金獲得できるような場の設定等も行っていきます。今後は、新しい人(特に某大学生)がどんどん入ってきて、どんどん被災地へ送り込むような活動をしていきたいと思っています。

直接被災地へ行けなくてもやれること、やらなければいけないことは山ほどあります。今後もやれることをやれるだけ、やっていきたいと思っています。「ご協力をいただいている 柴又「丸仁」のご主人と。



バックオフィス担当 ユズフこと三好